

Weekly Report

2023-2024



創立 1969年4月14日
承認 1969年4月23日
チャーターナイト 1969年11月9日
発行 IT・広報委員会

世界に希望を生み出そう

会長：磯崎裕騎 / 幹事：吉岡哲哉 / 副会長：村上義憲 / 会長エレクト：江島繁夫 / 副幹事：岩本達也 / S.A.A: 堀井実

今週のプログラム 第2585回 1月26日

職業奉仕委員会 大西委員長 加藤会員卓話 (題名未定)

担当者	職業奉仕委員会	例会場	JRホテルクレメント高松
-----	---------	-----	--------------

先週のプログラム 第2584回 1月19日

職場訪問例会「特別養護老人ホームあかね」

担当者	職業奉仕委員会	例会場	特別養護老人ホームあかね
-----	---------	-----	--------------



磯崎会長挨拶

・ みなさん、こんにちは
今日は吉岡会員にお世話になり職場例会で特別養護老人ホームあかね様で開催させていただきます。
職員の方にも色々とお世話になり本当にありがとうございます。
ではよろしくお祈りします。

吉岡幹事報告

・ 次週26日は理事会を開例会終了後 開催致します。

出席報告		出席委員長：低田陽介	
会員数 /	42名	出席規準数 /	39名
出席者数 /	18名	欠席者数 /	21名
出席率 /	46.15%	ビジター /	0名
最終出席率 /	12月22日 70.00%		→ 75.00%

例会スナップ



facebook

facebook でたくさんの写真を公開していますのでぜひご覧ください。
<http://www.facebook.com/TakamatsuWestRC>



メイクアップ

- 12月28日 観音寺RC 石川
- 1月16日 高松中央RC 江島 藤田
- 1月18日 高松RC 岩本 低田 岡田 白川
- 1月18日 2720 Japan O.K. ロータリークラブ 大島

1月26日 今日は何の日	今日生まれの有名人
インド共和国記念日/文化財防火デー 1948年 帝銀事件 1949年 法隆寺金堂全焼	1933年 藤本義一 1955年 所ジョージ 1966年 長嶋一茂
誕生花 寒牡丹(かんぼたん)、花言葉は“天才”	1880年 ダグラス・マッカーサー 1921年 盛田昭夫 1925年 ボール・ニューマン
誕生石 インカローズ、宝石言葉は“愛の炎”	

手に手つないで

手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪
ひろがれ まわれ 一つ心に
おおロータリアン おおロータリアン



ニコニコBOX

本日はご訪問頂きありがとうございます。吉岡
職場例会開催のご協力ありがとうございます。大西
誕生祝いを頂きました。野口
吉岡幹事お世話になります。磯崎

合計 4 件

本日の合計 25,000円

2023-2024年度累計 541,500円

RI 会長エレクトが 2024-25 年度会長テーマを発表



国際ロータリーのステファニー・アーチック会長エレクトは、2024-25年度会長テーマ「ロータリーのマジック」(The Magic of Rotary)を発表し、

多くの人びとを救うロータリーの力を認識してこれをさらに広げるよう呼びかけました。

「誤解しないでください。私たちは魔法の杖を振って呪文を唱えるだけでポリオを根絶したり、世界に平和をもたらしたりするわけではありません」。1月8日、ロータリー国際協議会でアーチック会長エレクトは次期地区ガバナーにこう語りました。「それは皆さん次第です。プロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、皆さんはマジック(魔法)を生み出すのです」

マクマーリー・ロータリークラブ(米国ペンシルバニア州)の会員であるアーチック会長エレクトは、ドミニカ共和国で浄水器の設置活動に携わったときにロータリーのマジックを目にしました。そのとき、汚い水がフィルターに入り、反対側から透明な水が出てくるのを、二人の少年が見ていました。

「少年の一人が私の袖をつかんで、『もう一度魔法を見せて』と言ったのです」とアーチック氏。「もちろん、その浄水器が魔法なのではありません。浄水器を輸送し、設置し、現地のリーダーと協力してメンテナンスを行うために、私たちは懸命に活動しました。安全な水を簡単に入手できれば自分たちの人生が変わるということ、少年たちは知っていました。私が少しでもその力になれたと知ったことで、私の人生も変わったのです」

平和を優先する

アーチック氏は、ロータリーの行動計画を推進し、継続と変化のバランスを取り、平和のために活動するよう会員に促しました。2025年には「分断された世界を癒す」をテーマに会長主催平和会議を開催する予定となっています。

ロータリーには、平和センターのネットワークを通じて平和を促進してきた長い歴史があると、アーチック氏は述べました。世界各地の名門大学に拠点を置く平和センターは、現在140カ国以上で活躍する約1,800人の平和フェローを育ててきました。トルコのイスタンブールにあるバーチエシヒル大学に設置される最新の平和センターでは、2025年に第1期フェローが学業を開始します。

「ロータリー平和フェローシップは、紛争を終わらせ、予防するきっかけとなる平和・開発の専門家を世界各地で育成するため

に、20年以上前に始まりました」とアーチック氏。「この会議は、ロータリーの平和活動に焦点を当て、ともに学ぶ機会となります」

アーチック氏はさらに、ポリオ根絶へのコミットメントについても繰り返し触れ、ポリオプラス・ソサエティへの参加や、各地区でのソサエティの創設など、ポリオ根絶のために全力を尽くすよう次期ガバナーに求めました。

「地元の議員や政府のリーダーに連絡し、ポリオが現在も脅威であることを伝えて、ポリオ根絶への支援を呼びかけてください。ポリオは今も私たちの最優先事項であり、最大限のコミットメントが必要とされます。成すべき重要な仕事はまだ多くあります」

継続と変化のバランス

また、継続と変化のバランスを取ることも必要性も強調し、どちらもロータリー行動計画の原動力であると述べました。

この計画は、ロータリーの最善のアイデアを捨てるのではなく、それを土台として築いていくものとアーチック氏。「私たちは、バランスを取るという難題に直面しています。自分たちを変えつつも、自分たちの真の姿に忠実であり続けなければなりません」

さらに、クラブでの体験を会員にとって魅力的なものとするために必要な対策を取るよう、ガバナーに求めました。

「これは、皆さんの地区でのやり方を変えることを意味するかもしれませんが、地区が過去50年間に同じ方法で物事を行ってきたのであれば、おそらくそれを見直す時が来ているでしょう。地区内のクラブが活発に活動していない場合、または会員が減っている場合、地域社会にもっと合った新クラブを結成する時が来ているのかもしれませんが、クラブや地区が長年変わっていないからといって、誰も変化を望んでいないわけではありません」

アーチック氏は、好ましい変化をもたらす一つの方法は、クラブで多様性、公平さ、インクルージョン(DEI)の原則を取り入れることであると述べました。

「行動志向の次世代の人たちをオープンな心で迎えていただくことを願っています。たとえ、地元クラブの典型的な会員とは異なるタイプの人であっても」とアーチック氏。「DEIを受け入れれば、共通の目的のために結束しやすくなります。ともに献身し、力を注げば、ロータリーは最も効果的で時代に即した存在になることができます」

ロータリーの特別月間(1月)

職業奉仕月間 (Vocational Service Month)

2004年11月の理事会決定59号で決定され、10月を指定されておりましたが、2014年10月理事会で大幅な特別月間の変更がありました。

それに伴って1月へ移行された職業奉仕を強調する月間である。職業奉仕とは、あらゆる職業に携わる中で、奉仕の理念の実践をロータリーが培い、支援する方法である。

「ロータリーの目的」の第2項は、職業奉仕が基本となるもので、特に以下のことを奨励し、育成する：

- 1 職業上の高い倫理基準を保つこと；
- 1 役立つ仕事はすべて価値あるものと認識すること；
- 1 社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。

(ロータリー章典 8.030.1. 職業奉仕に関する声明より抜粋)

次週のプログラム 第2586回

2月2日

高松グリーンRC合同例会

担当者 プログラム委員会

例会場 天勝